

北海道肺がんプロジェクト部会

目的(現状の打破)

- ・「全国ワーストクラス」の治療成績からの脱却
- ・「臨床医としての悔しさ」を改善アクションへ

目標

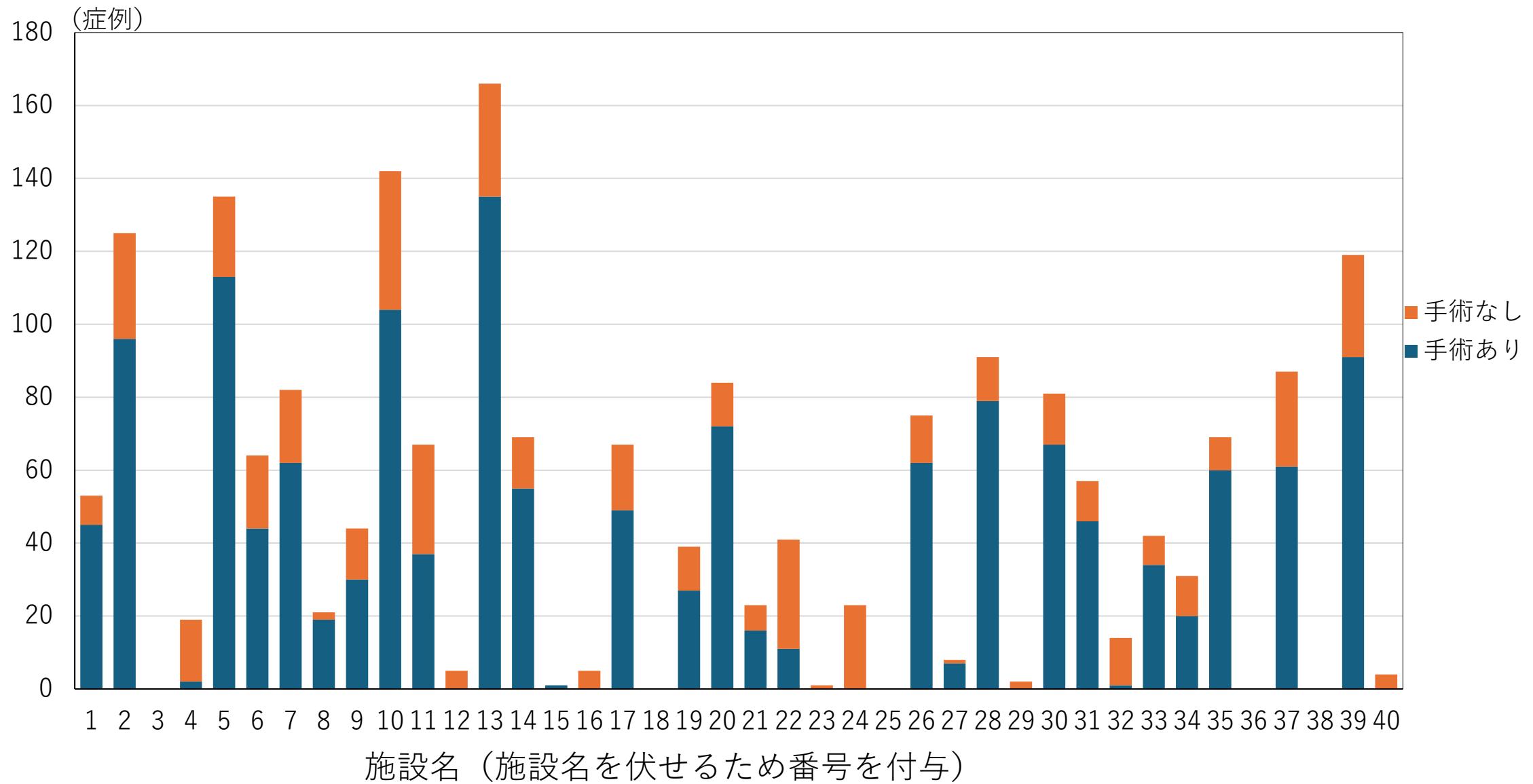
- ・特定施設への集約ではなく、地域全体の診療力を底上げする
- ・どの地域でも、質の高い標準治療が確実に受けられる体制の構築
- ・外科・放射線科の有無に関わらず、最適なタイミングでの紹介・協力体制を確立

2025年10月25日 ワークショップを開催いたしました

目指すべき姿は「北海道モデル」

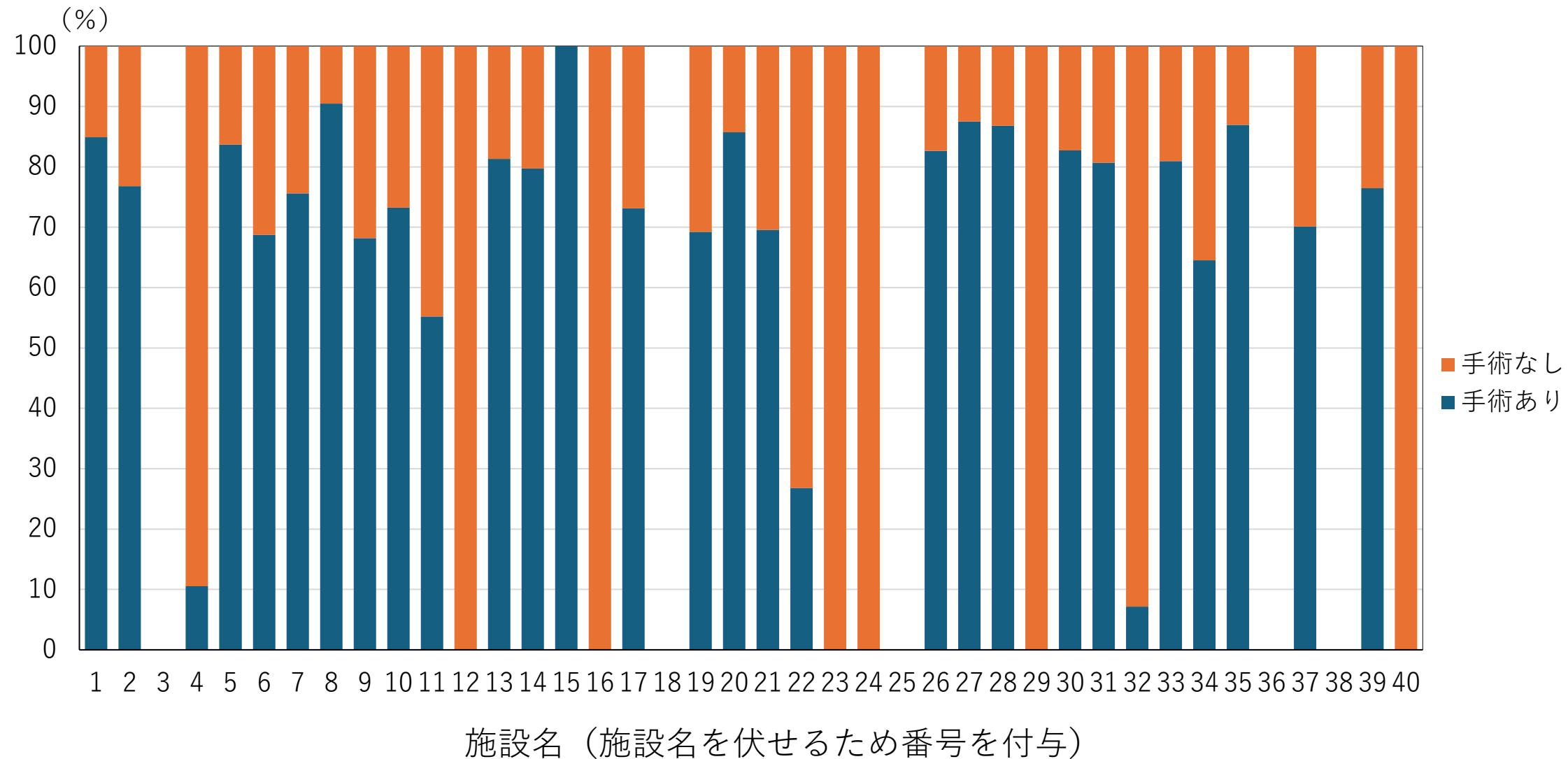
- ・地域一体となった肺がん診療の新たなスタンダードの創出

登録数「非小細胞癌（Ⅰ期）（手術 有・無）」

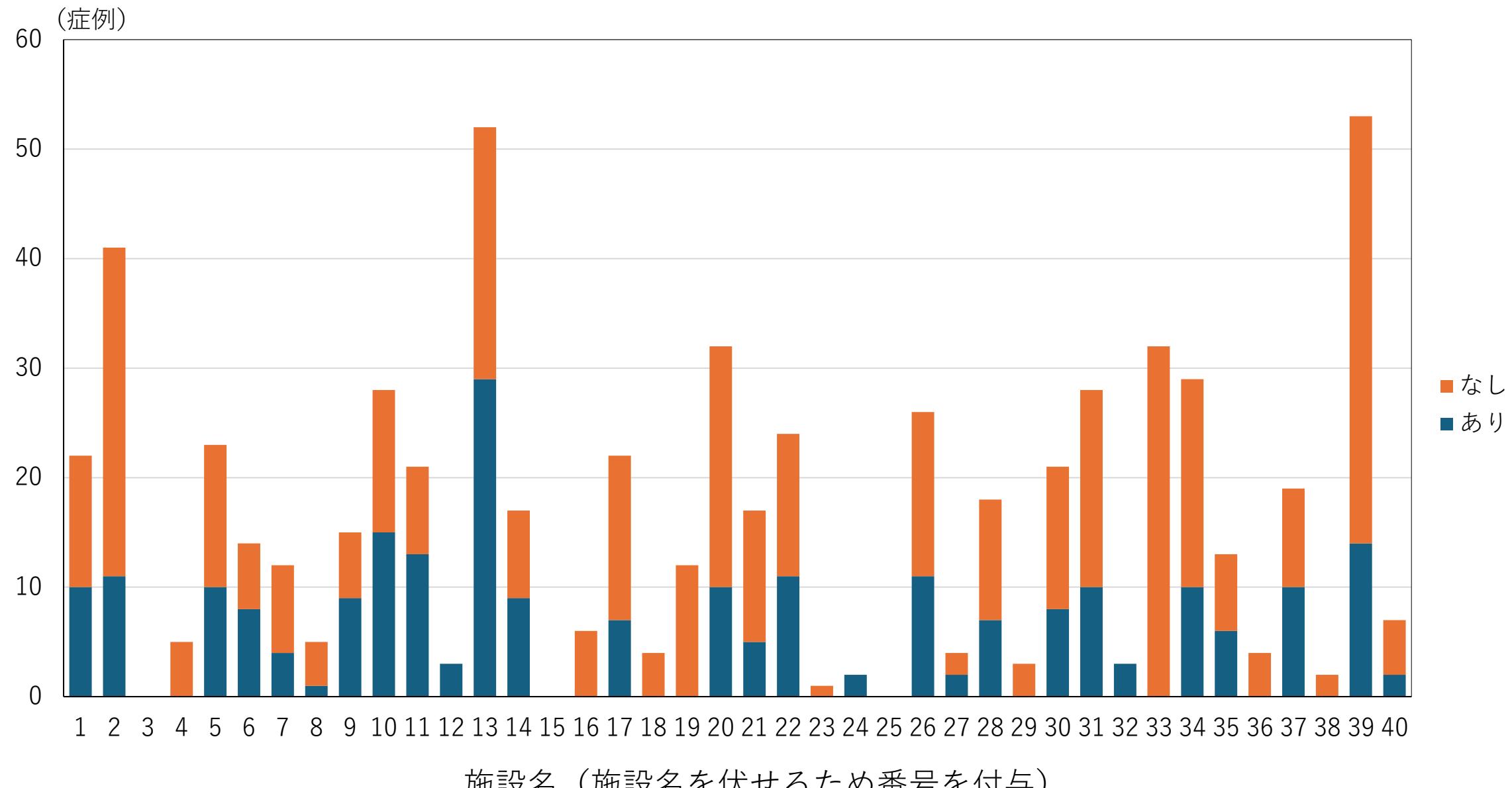


* 詳細な治療方法別集計値は別紙ご参照ください「別紙1 非小細胞癌 (Stage × 治療法) (Ⅰ期)」

構成比「非小細胞癌（Ⅰ期）（手術 有・無）」

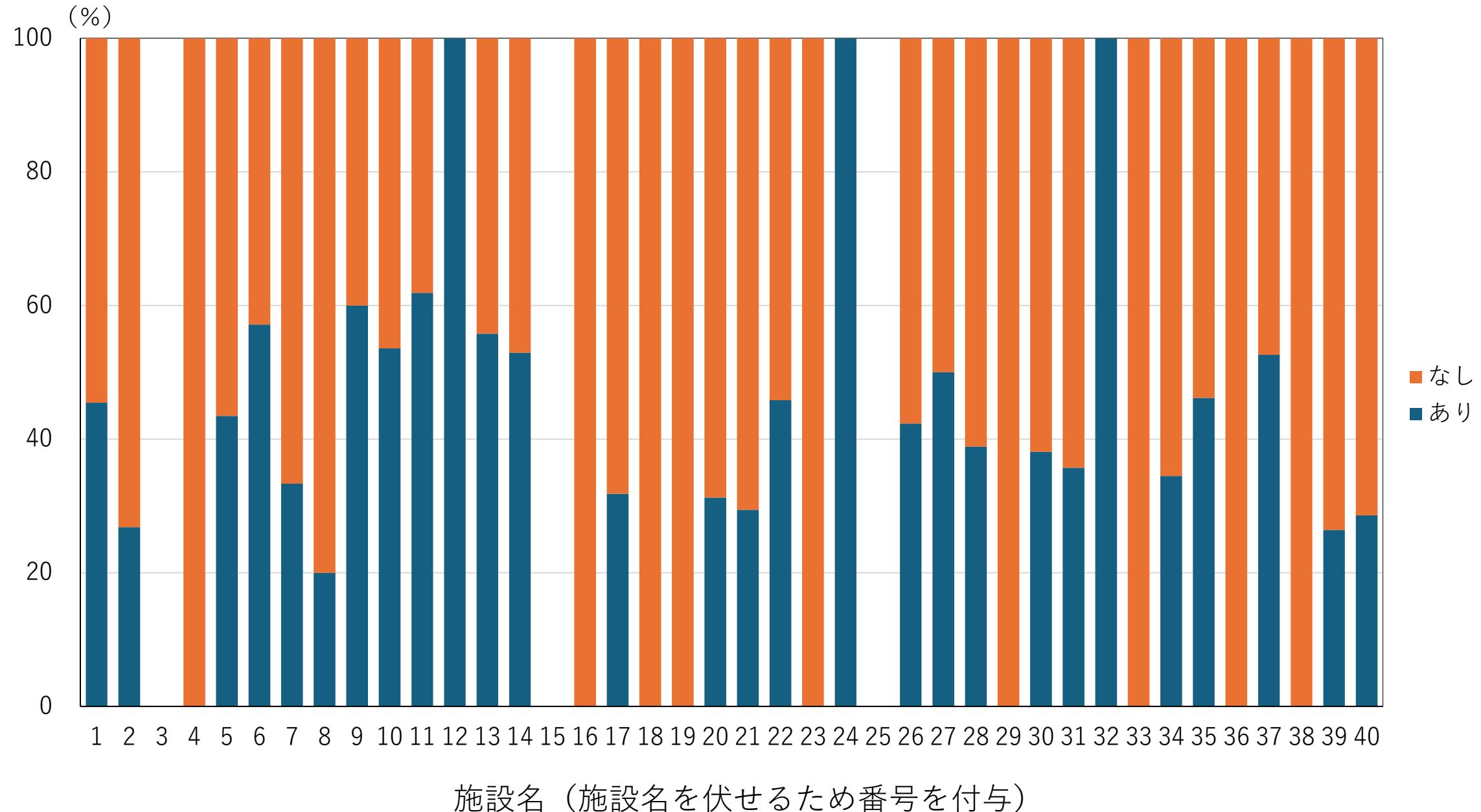


登録数「非小細胞癌 (III期) (放射線治療 有・無)」



* 詳細な治療方法別集計値は別紙ご参照ください 「別紙1 非小細胞癌 (Stage × 治療法) (III期)」

構成比「非小細胞癌 (III期) (放射線治療 有・無)」



「北海道モデル」の構築に向けて

まずは札幌圏を中心に、実務者で協議を進め、北海道全体に展開

最終アウトカムは

肺がん患者が病期・状態に応じた標準治療と連携医療を受け、

治療成績・QOLが改善し、施設間格差が縮小する

長期的な挑戦

この取組は、今日明日で結果が出るものではありません

5年、10年先を見据えた、持続可能な仕組みを目指します

各病院管理者へのお願い

現場の医師や事務職員が施設の垣根を越えて連携できる環境作りを後押ししてください

「せめて最下位を脱却し、道民の命を守る」という志を共有してください